

調 査 票

(回答機関名：研究開発グループ)

終了年度	実施機関	試験研究課題名
平成 1 4 年度	農業試験場	果菜類のネット被覆栽培技術の開発 (露地夏秋キュウリの全期間防虫ネット被覆栽培 におけるミツバチの放飼による流れ果防止)
試験研究の目的・内容・結果		
目的： ウイルス感染対策等のための露地夏秋キュウリの全期間防虫ネット被覆栽培での、被覆期間中の流れ果防止技術を開発する。		
内容： ネット被覆期間中のハウス内へのミツバチの放飼が流れ果防止に有効であり、その効果は 2,000 頭/a を放飼することで得られることを明らかにした。		
利活用の状況		
露地夏秋キュウリにおけるネット被覆栽培は、流れ果防止効果だけでなく、農薬削減、雹害、風害防止対策として導入が進められている。会津坂下普及所管内では全域に普及され、須賀川地方でも導入が進んでいる。		
利活用にあたっての問題点		
特になし。		
利活用を促進する提案		
特になし。		
外部評価アドバイザーのコメント		
生産者が本方式を導入するにあたってのコストも低いようで、大きな成果が得られたものと考えます。		